

(様式第4号)

上田市都市計画審議会 会議概要

1 審議会名	第23回上田市都市計画審議会
2 日時	令和3年3月17日 午後1時30分から午後4時45分まで
3 会場	上田駅前ビルパレオ 2階会議室
4 出席者	高木会長、龍野副会長、成瀬委員、小坂井委員、宮下委員、池田委員、青木委員、塩川委員、野口委員、相川委員、國枝委員、甘利様（代理）、倉田様（代理）、中山委員、清住委員 計15名
5 市側出席者	
【都市建設部】	藤澤部長
【都市計画課】	中澤課長、山崎調査計画担当係長、矢島街路公園整備担当係長、堀内街路公園整備担当係長、宮入景観緑化係長、村田主査、笹平主査、竹内主査、久保田技師、沓掛主事
【商工課】	石山商工振興担当係長兼市街地商業活性化担当係長
【丸子建設課】	堀内課長、関土木担当係長、山浦主査、村山主任
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍聴者	2人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和3年3月25日
協議事項等	
1 開会（挨拶：藤澤都市建設部長）	
2 会長・副会長の選出（高木 直樹会長、龍野 壮太副会長）	
3 議事（進行：高木会長）	
（1）議事録署名人の選出（高木会長）	
（2）上田市都市計画審議会の概要（中澤課長）	
（3）事務処理報告（堀内補佐）	第22回都市計画審議会の事務処理報告
（4）調査審議	
【概要説明】社会資本総合交付金の制度と事後評価について	
【議案審議第1号】社会資本総合整備計画（上田市都市公園の利便性・安全性の向上）の事後評価について（中澤課長・堀内補佐）	
◆（委員）4点質問したい。1点目が、今回更新した遊具が何歳から何歳までを対象にしたものか。	
2点目が、今後、インクルーシブ教育というものが普通になっていく中で、障がいを持つ子どもも一緒に遊べる遊具を増やしていく必要があると感じているがどうか。	
3点目が、木製の遊具と金属・プラスチック製の遊具では、木製の遊具の方が、景観や子どもの成長という観点からもメリットが多いと思うがどうか。	
4点目が、元気老人を増やそうという政策を推進している中で、なぜ大人用の遊具が置かれなかったのかお聞きしたい。	
（事務局）1点目であるが、主に3歳～12歳を対象年齢として遊具を設置している。	
2点目の障がいを持つ子どもも一緒に遊べる遊具の設置については、上田市では遅れている部分もあるため、今後はそうしたことも考えて計画していきたい。	

3 点目であるが、メーカーで木製の遊具を製造していないという状況もあるため、問い合わせたりしながら対応していきたい。

4 点目については、体操遊具のような物を設置し始めている公園もあるため、少しずつそのあたりも考えていきたい。

- ◆（委 員）人口減少が進み遊具を利用する子どもの数も減少していく中で、子どもがほとんどいなくなった場所に子ども向け遊具が並んでいるという状況が生まれるかもしれないが、その辺りはどう考えるか。

（事務局）遊具は一定量改修されてきたため、今後はベンチや四阿などの改修にも目を向けていきたいが、その際に、10 年後の姿というようなことも考えてやっていきたい。

- ◆（委 員）上田城跡公園に関しては、今回の整備で当面はほぼ完了ということか。

（事務局）バリアフリー化に関しては完了しているが、公園内の施設についてはまだまだ整備されていない所があるため、順次施設の更新を行っていききたい。

- ◆（委 員）今回の事業の成果を市として周知していくことが重要なのではないかと考える。

また、高齢者や障がいを持った方にとっての公園づくりという観点を今後見据えていくのかと思うが、そのあたりの今後のビジョンを詳しく説明して欲しい。

（事務局）設置してある公園や遊具の PR については、HP 等でしか行っておらず、アンケートを取ったところに対しての声かけはしていなかったため、していくべきだったと考えている。

また、今後のビジョンについては、大人から子どもまで使う公園だということを念頭に置きながら進めていきたい。

- ◆（委 員）公園の長寿命化というのは、文字通り遊具を補修して長く使っていくという意味合いなのか。資料を見るとまったく新しく変えた写真が多くでてきていたが。

（事務局）基本的には施設の長寿命化であるため、全く更新ということにはならない。例えば、部材の一部だけを交換して良しとする場合もある。ただ、今回紹介したものは、危険であって、軽微な改修では駄目だと判断したものである。

- ◆（委 員）市民の森公園について、遊具更新の際に地域でアンケートをとったという説明があったが、限られた地域にだけ行ったのか。

（事務局）市内全域から意見をとるべきだという意見もあるかと思うが、神科・豊殿協議会や近隣の小学校・幼稚園・保育園などできるだけ公園に近いところから意見を伺った。

審議結果

一部修正を加えたうえで原案を承認

【議案審議第 2 号】社会資本総合整備計画（賑わいのある中心市街地の再生と、歴史を感じるまちづくり）の事後評価について（矢島補佐）

- ◆（委 員）現在海野町で建築中の二棟のマンションに補助金が入っているのか。

また、中心市街地にマンションを建てて、人口増に協力したということで補助金が出たのか。補助金の交付についてどのような決め方をしているのか知りたい。

（事務局）建設中である二棟のマンションについて補助金は使われていない。

優良建築物等整備事業という補助金の制度であるが、人口増を目標にしている部分もあるが、接道されていないような土地をまとめて再開発していただくためにある制度である。また、前面を少し後退していただき空地を確保していただくことによって歩道も広くなり、有事の際にはそこを利用できるということも目的としている。

- ◆（委員）事業において達成されたことの中に「民間における市街地再開発の共同化住宅建設により居住人口が増加した」とあるが、区域全体では居住人口は減っていると説明があったはずだが。
（事務局）この記述は、区域全体のことでなく、課題に対して達成したこととして書いたものであるが、誤解のない記述に改めさせていただく。
- ◆（委員）空き家・空き店舗について、上田のような風情ある街では、古い建物に中だけリノベーションして住みたいという方がいて、そうした移住者によって賑わいが生み出されていくと考えているがどうか。
（事務局）まず、空き家バンクの制度だが、中心市街地は物件がない状態である。また、街中に関しては、古い建物を解体し、駐車場にして収益にするケースが見受けられるため、物件を探すのが難しいということがある。
（委員）（建築の分野から）古い建物をリノベーションして新たな城下町が形成されるというのは素晴らしい話だが、建物の耐震化や、（建築基準法上の）用途変更など様々な縛りが出てくる。狭い道路を何とかして、建物を建てやすくするような形になっていった方が、より人口増加が望めるのではないかと考えている。

審議結果

一部修正を加えたうえで原案を承認。

【議案審議第3号】街なみ環境整備事業（柳町紺屋町地区）の事後評価について（宮入補佐）

- ◆（委員）柳町地区はソフト面が良いと考える。単純に建物や景観を良くしたりというわけではなく、仕掛けが色々あるということだと思うがどうか。
（事務局）地元の方が事業者など外からの人を受け入れる柔軟な気持ちがあり、両者がうまくバランスを取りながら連携している部分がうまくいっていると感じている。

審議結果

原案のとおり承認。

4 閉 会（挨拶：藤澤都市建設部長）